

会話文型・表現1 考えを言う

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現1>

考えを言う

「難しかったんじゃない？」

【会話1】



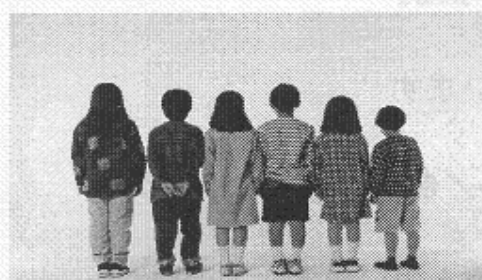
山田：タンさんは日本の子どもたちについてどう思いますか。

タン：そうですね。あまり外で遊ばないようですね。うちで、コンピューターゲームなどをやっている子どもが多いんじゃないでしょうか。

山田：外で鬼ごっこのような遊びとか野球やサッカーなどをやっている子どもも見るといいですね。

タン：もちろんそういう子どももいますが、私の国に比べて少ないような気がします。

山田：特に都会ではだんだん外で遊ぶ場所が少なくなりましたからね。



会話文型・表現1 考えを言う

【会話2】



佐藤：こんどのパーティーには何人ぐらい来るでしょうか。

山本：招待状は100人くらいに出しましたが、その半分くらいじゃないかと思います。

佐藤：そんなに少ないでしょうか。

山本：会費がちょっと高いですからね。

もう少し安ければ70人くらい来るんじゃないかと思いますがね。



【会話3】



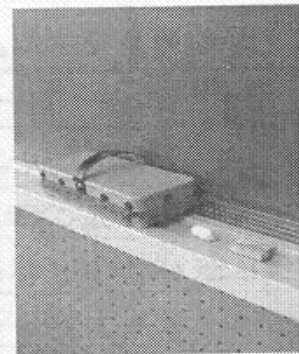
ケン：きょうの試験、どうだった。難しかったんじゃない？

キム：そうね。最初の問題はやさしかったと思うけど、あとは自信がないわね。

ケン：悪かった人はもう一度テストを受けるのかな。

キム：そうじゃない。今までもそうだったから。でも、ケンさんは大丈夫でしょう。

ケン：そうかな。今回はどうなるかわからないよ。



■ 文型・表現

(1) ～と思います

(2) (たぶん/きっと) ～でしょう

(3) ～だろうと思います

しょうたいじょう かいひ じしん
招待状 会費 自信

(4) ～のではないかと思います(※「～だろーと思います」の婉曲表現／硬い表現)
～のではないでしょうか

1. 物価はもう少し下がるのではないかと思います。
2. もうすこし考えたほうがいいのではないでしょうか。
注) 名詞の場合には「～ではないかと思います／でしょうか」の形もある。
3. あの方は先日お会いした山田先生ではないかと思います。

(5) ～んじゃないかと思います(※4のくだけた表現)

～んじゃないでしょうか

～んじゃないかな／～んじゃないかしら(女)

～んじゃない(※イントネーションに注意)

1. 山田さんは来るんじゃないかと思います。
2. 月末は忙しくて会えないんじゃないでしょうか。
3. そんなことをしたら怒られるんじゃないかな。
4. 先生に相談したほうがいいんじゃない。
5. それは山田さんが忘れていった物なんじゃないかしら。
注) 名詞の場合には「～じゃない・・・」の形もある。
6. そうなんじゃない／そうじゃない。
7. あの方は九州の出身じゃないでしょうか。

(6) ～か(どうか)分かりません／(知りません)

1. どこに住んでいるか／東京に住んでいるかどうか分かりません。
2. どちらのほうがいいか(は)私には分かりませんね。
3. そこがどんなところか(は)ちょっと分かりません。
4. どう思うかと聞かれても、よく知らないので・・・

(7) ～ようです／～ような気がします

1. 日本では喫煙のマナーを守る人が少ないようですね。
2. 私の国にはそういう習慣はないような気がします。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現2>

願望・希望

「早く終わらないかな」

【会話1】（学校で）



男：早く授業終わらないかな。

女：ほんと。もうおなかがすいて、死にそう。

男：早く終わりのベルが鳴ってくれないかな。



【会話2】（会社で）



女：山田部長の考え方はちょっと古いわよね。

男：そうだね。もっと今の時代に合った考え方をしてほしいよ。

女：若い社員の意見を全然聞かないしね。

男：もっと私たちの意見も聞いてもらいたいよね。



会話文型・表現2 願望・希望

【会話3】 リン(女)、 中村(女)



リン：すごくおいしいですね。

中村：そう？ 初めて作ってみたんだけど。

リン：私も中村さんみたいに料理が上手になりたいなあ。

中村：私もそんなに上手じゃないわよ。

リン：そんなことないわよ。

ああ、早くこんな料理が作れるようにならないかなあ。



【会話4】



男：今度、娘さんが東京大学を受けるそうですね。

女：ええ。第一志望なんですけど。

男：合格するといいですね。

■ 文型・表現

(1) 物事の実現を望む

1) ～ないかな(あ)、～してくれないかな(あ)

1. 早く試験終わらないかな。(※試験中／期間中に)
2. 山田さん、早く来ないかな。(※待ち合わせ場所で)
3. あーあ、もっと給料上がらないかなあ。
4. ああ、雨が降ってくれないかな。
5. 週末は晴れてくれないかな。
6. だれか手伝ってくれないかなあ。(※ひとり言のように) → ★会話文型・表現<3>

第一志望(←志望する)

2) ～てほしいですね、～てもらいたいですね

～てほしいね／な(あ)、～てもらいたいね／な(あ) → ★会話文型・表現<3>

1. もっと詳しく説明してほしいなあ。
2. 家賃をもっと安くしてほしいですね。
3. だれか私の代わりに行ってもらいたいな。

(2) 自分のことについて実現を望む

1) ～たいですね、～たいね／な(あ)

2) (～できる) ようになりたいですね、(～できる) ようになりたいね／な(あ)

1. もっと上手に話せるようになりたいですね。
2. こんな家に住めるようになりたいなあ。

3) (～できる) といいんですけどね、(～できる) といいんだけどね／な(あ)
(～できれ) ばいいんですけどね、(～できれ) ばいいんだけどね／な(あ)

1. 休みに宿題がぜんぶ終わればいいんですけどね。
2. あしたの締切に間に合うといいんだけどな。
3. 合格できればいいんだけどなあ。

4) (～できる) ようにならないかな(あ)

- ・あの人みたいにかっこよく滑れるようにならないかな。

(3) ^{たしや}他者のことについて実現を望む

～といいですね

～といいね

注) 他者の場合には「～ば」は使わない。使うと失礼になる。

1. 息子さん、早く元気になるといいですね。
2. その問題、早く解決するといいね。

会話文型・表現3 頼む

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現3>

頼む

「貸していただけませんか」

【会話1】



学生：先生、ちょっとお願いがあるんですが、今よろしいでしょうか。

先生：ええ。何ですか。

学生：これ、学校の本なんですが、あしたまで貸していただけませんか。レポートを書くのに参考にしたいんです。

先生：いいですよ。それじゃ、この用紙に名前と本のタイトルを書いてください。

【会話2】



お客：ちょっとよろしいですか。

店員：はい、何でしょうか。

お客：これを贈り物にしたいので、きれいに包んでもらいたいんですが。

店員：かしこまりました。少々お待ちいただけますか。



会話文型・表現3 頼む

【会話3】 (友達同士)



A: 悪いけど、ちょっとここで待って(い)てくれない?

コンビニに行って飲み物買って来るから。

B: ああ、いいよ。／ええ、いいわよ。

それじゃ、ついでにパンも買って来てもらえる?

【会話4】 (夫婦)



妻: ねえ、ちょっと来て。

夫: 何?

妻: 食事できたから、そっちに運んでくれる?

【会話5】



山田: どこで食事しましょうか。

中村: そうですね。きょうは仕事が遅くなるから、できれば会社の近くに
してもらえると有り難いんですけど。

山田: いいですよ。そうしましょう。

■ 文型・表現

(1) 基本的な文型

～てください／～ないてください

(2) 丁寧な依頼の文型 (※ BはAの敬語表現)

A) ～てもらえませんか、～てくれませんか

B) ～ていただけませんか、～てくださいませんか

ついでに あ がた
有り難い

会話文型・表現3 頼む

(3) 丁寧な依頼の文型 (※2よりもさらに丁寧になる)

A) ~てもらえると有り難いんですが／けど

B) ~ていただけると有り難いんですが／けど

(※「有り難い」の代わりに「うれしい」「助かる」なども使われる)

(4) 親しい関係の場合

~てもらえる? ~てくれる? (※イントネーションに注意)

~てもらえないかな ~てくれないかな

注) 知らない人に対して、注意するような場合には使うことがある。

1. ちょっと、ここは図書館なんだから、静かにしてくれないかな。

2. ちょっと、座ってもらえる? 前が全然見えないよ。

(5) とても親しい関係の場合

~て／~ないで

1. ちょっとこれ見て。 その本、ちょっと見せて。

2. いま考えごとしているから、話しかけないで。

注) 特に女性の場合には「~て／ないでちょうだい」も使われる。

3. このごみ外に出してきてちょうだい。

注) 緊急事態^{きんきゅうじたい}の場合にも使われる。その場合には知らない人に対しても命令の形・表現が使われる。

4. 女性「きゃー! 助けて!」

男性「わーっ、助けてくれ!」

5. 女性「ちょっと、何するの! 放してよ。／ 近づかないでよ」

男性「ちょっと、何するんだ! 放せよ。／ 近づくなよ」

(6) レベルに合った前置きの表現

1. 恐れ入りますが、・・・

申し訳ありませんが、・・・

2. すみませんが、・・・

3. 悪いけど、・・・

◇ 縮約形 ①

(1) 「~ている」→「~てる」

「~でいる」→「~でる」

・ここで待ってて。

・何してるの?

・何読んでるの?

・ここでちょっと休んでて。

・そんなところに立ってないでよ。

(2) 「~ておく」→「~とく」

「~でおく」→「~どく」

・山田さんに電話しといて。

・これ、あしたまでに読んどいて。

かんが 考えごと(をする) はな 話しかけるⅡ おそ い 恐れ入るⅠ

会話文型・表現4 誘う、受ける／断る

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現4>
誘う、受ける／断る
「一緒にいかがですか」

【会話1】（目上の人を誘う）



学生：山田先生、ちょっとよろしいですか。

先生：はい。何ですか。

学生：今週の金曜日の夜にクラスみんなで飲みに行くことになったんですが、よろしかったら、一緒にいかがですか。

先生：ええと、金曜日ですか。いいですよ。

学生：それじゃ、時間と場所が決まりましたら、またご連絡します。

先生：ええ、そうしてください。

（断る場合）

先生：ええと、金曜日ですか。

残念ですが、その日はほかに約束があるので、ちょっと無理ですね。
せっかく誘ってもらったのにごめんなさい。

学生：いいえ。それじゃ、また次の機会に。

先生：ええ、また誘ってくださいね。

会話文型・表現4 誘う、受ける／断る

【会話2】



チン：山本さんじゃありませんか。久しぶりですね。お元気でしたか。

山本：ああ、チンさん。お久しぶり。今はお仕事をしていますか。

チン：ええ、4月から働いています。まだ仕事に慣れなくて大変です。

山本：そうですか。あ、よかったらそのへんでお茶でもどうですか。

チン：すみません。きょうはちょっと。

これから人に会わなければならないものですから。

山本：それじゃ、しょうがないですね。これ私の名刺です。

電話番号が書いてありますから、よかったらまた連絡ください。

チン：あ、どうも。それじゃ、失礼します。

【会話3】（友達を誘う）



リー：もしもし、太郎さんですか。リーです。

太郎：あ、リーさん。こんにちは。

リー：あのう、午後に映画を見に行こうと思って(い)るんだけど、
一緒に行かない？

太郎：何の映画？

リー：ほら、今話題になっている北野監督の映画。知って(い)るでしょう。
もう見ちゃった？

太郎：ううん、まだ。あの映画、面白そうだよ。僕も見たいと思って(い)
たんだ。

リー：よかった。じゃ、これからそっちに行くから。

太郎：わかった。それじゃ、あとでね。



会話文型・表現4 誘う、受ける／断る

【会話4】（親しい関係）



太郎：行こうよ。ねえ、いいだろう。

花子：いやよ。

太郎：どうして？

花子：だって、あそこつまらないんだもん。

■ 文型・表現

<誘う>

(1) ～ない？

～ませんか

1. ねえ、一緒に行かない？
2. あのう、一緒に行きませんか。

(2) ～(よ)うよ (※迷っている人、行きたがらない人に)

～ましょうよ

1. ねえ、行こうよ。絶対に面白いから。
2. (女性) ねえ、ねえ、行きましょうよ。ほかにすることないんでしょう。

(3) 一緒にどう？／どうですか／いかがですか

(4) 前置きの表現

1. よかったら、よろしかったら・・・
2. 時間があったら、暇だったら、お暇でしたら・・・

<誘いを受ける>

(1) ええ、いいですよ。(※基本的な受け方)

(2) いいですね。～ましょう。(※興味がある誘いのとき)

1. いいですね。私も食べたいと思っていましたんですよ。行きましょう。
2. いいですね。私も見たいと思っていましたんですよ。行きましょう。

会話文型・表現4 誘う、受ける／断る

(3) ありがとうございます。ぜひ。(※誘ってくれた人に感謝の気持ちを表す)
 ありがとうございます。喜んで。

1. A「よかったら、一緒にどうですか」
 B「ありがとうございます。ぜひ行きたいと思います」
2. A「お暇でしたら、一緒にお食事でもいかがかと思ひまして」
 B「ありがとうございます。ぜひご一緒したいと思います」

<誘いを断る>

(1) すみません／ごめんなさい。～はちょっと。(＋理由) (※基本的な断り方)

- ・ すみません、きょうはちょっと。用事があるので。

注)『ごめんなさい』は目上の人には使わないほうがいい。

(2) ～ものですから。(※個人的な理由で断る場合) → ★L.9 文型「理由表現」

1. すみません。先約があるものですから。
2. すみません。これから出かけなければならないものですから。

(3) (だって) ～もの／～もん (※2のくだけた表現 「もん」は女性の表現)

1. だって、お金がないんだもの。
2. だって、両親がうるさいんだもん。二人だけでは行けないわ。

(4) 前置きの表現

1. 残念ですが、・・・
2. ぜひ ～たいんですが、・・・

◇ 縮約形 ③

「～てしまう」→「～ちゃう」

「～でしまう」→「～じゃう」

1. 山田さんならもう帰っちゃったよ。
2. この仕事、早く終わらせちゃおう。
3. お昼ご飯、もう食べちゃった？
4. その本はもう読んじゃったよ。

会話文型・表現5 申し出る、感謝する

すぐに使える会話表現

＜会話文型・表現5＞
申し出る、感謝する

「手伝いましょうか」

【会話1】



田中：準備、大変そうですね。何か手伝いましょうか。

キム：あ、田中さん。大丈夫ですよ。ご心配なく。

田中：遠慮しないでください。ええと、このイスを並べるんですね。

キム：ええ。どうもすみません。助かります。

キム：本当に助かりました。感謝します。

田中：いいえ、どういたしまして。

【会話2】



ケン：何かお手伝いできることはありませんか。

佐藤：あ、ケンさん。それじゃ、すみませんけど、これを運ぶのを手伝ってもらえますか。

佐藤：ケンさんのおかげで、ずいぶん早く終わりました。ありがとうございました。



会話文型・表現5 申し出る、感謝する

【会話3】



リー：忙しそうですね。

木村：ええ。お昼ご飯を買いに行きたいんだけど、なかなか行けなくて。

リー：それなら、私が代わりに買って来ましょうか。

ちょうど私も何か買って来ようと思っていたところですから。

木村：そうですか。そうしてもらえると有り難いです。

リー：はい、どうぞ。

木村：すみませんでした。リーさんがいてくれてよかったです。

【会話4】



男：かぜひいたらしいね。大丈夫？ なんか買って来てあげようか。

女：それじゃ、悪いけど、果物を買って来てくれる？

男：いいよ。困った時はお互い様だよ。

女：本当に悪いわね。



【会話5】



ヘレン：先生、ようこそいらっしゃいました。お荷物、お持ちしましょうか。

先生：そうですか。どうもありがとうございます。

ヘレン：きょうはお疲れでしょうから、ゆっくり休んでください。あしたの予定はもうお決まりですか。

何もなければ、あしたは私にサンフランシスコを案内させていただきます。

先生：そうですか。忙しいのに悪いですね。

たが さま
お互い様

■ 文型・表現

<申し出る>

(1) ～ましょうか (※基本的な文型)

1. 手伝いましょうか。
2. 私が(代わりに)行きましょうか。

(2) お～しましょうか (※丁寧な申し出、相手・相手の物に対してする場合)

1. お手伝いしましょうか。
2. お荷物、お持ちしましょうか。
3. (私が)お取りしましょうか。
4. (私が)ご案内しましょうか。

(3) ～てあげようか／～てあげましょうか (※親しい人、目下の人に)

1. 手伝ってあげましょうか。
2. 私が(代わりに)作ってあげようか。

(4) (私が)～します／しまししょう／お～します

(※相手の返事を聞かなくてもいい場合)

1. あ、それは私がします。山田さんは座っててください。
2. 大丈夫です。それは私がしまししょう。前にもやったことがありますから。

(5) (私に)～させてください。

(※許可を求める文型を使って自分の意志を伝える)

- ・ その仕事はぜひ私にやらせてください。

<感謝する>

(1) ありがとうございます／ありがとうございました。

どうもすみません／すみませんでした。

(2) (本当に) 助かります／助かりました。

(3) (本当に) 悪いね (※親しい関係、目下の人に)

(4) ○○さんのおかげで、・・・・・・た。

おかげ様で・・・・・・た。

会話文型・表現6 伝言を頼む・伝える

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現6>

伝言を頼む・伝える

「欠席すると伝えてください」

【会話1】



事務員：はい、ABC日本語学校です。

ヘレン：もしもし、中級1のクラスのヘレンですが、宮田先生はいらっしゃいますか。

事務員：宮田先生はもう帰られましたけど。

ヘレン：そうですか。それでは、伝言をお願いできますか。

事務員：ええ。どうぞ。

ヘレン：あしたの授業なんですけど、急用ができたので欠席すると伝えてください。

事務員：あしたの授業は欠席するということですね。分かりました。

ヘレン：よろしくお願いします。

事務員：きのうヘレンさんから電話がありまして、急用ができたので、きょうの授業は休むとのことでした。

宮田：そうですか。分かりました。

でんごん けっせき
伝言(する) 欠席(する) (⇔出席*)

会話文型・表現6 伝言を頼む・伝える

【会話2】



キム：ケンさん、ちょっとお願いがあるんですけど。

ケン：何ですか。

キム：きょう、山田さんの家に集まるでしょう。でも、私、行けなくなつたんです。

ケン：え？ どうして。

キム：あしたまでに出さなければならないレポートがまだ終わらなくて。

ケン：そうなんですか。大変ですね。

キム：すみませんが、山田さんにそう伝えてもらえますか。

山田：あれ？ キムさんは一緒じゃないんですか。

ケン：あ、キムさんならきょうは来られなくなったって言って(い)ました。
今晚、レポートを書かなければならないらしいです。

【会話3】 カン（男） 山本（女）



カン：キムさんどこか知らない？ 探して(い)るんだけど。

山本：さあ。でも、かばんがあるから戻ってくると思うけど。

カン：じゃ、戻ったら、私の携帯に電話するように言ってくれる？ 急用なんだ。

山本：わかった。伝えとくわ。

山本：あ、キムさん、さっきカンさんが探して(い)たわよ。

キム：何か言っ(い)た？

山本：うん。携帯に電話してくださいって。急用なんだって。

会話文型・表現6 伝言を頼む・伝える

■ 文型・表現

<伝言を頼む>

- (1) 伝言をお願いできますか
- (2) 伝えてもらいたいことがあるんですが
- (3) ～と伝えてください／伝えてもらえますか／伝えていただけますか
(※「～」には普通形が来る)
1. あした休むと伝えてください。
 2. 今晚のミーティングに少し遅れると伝えてもらえますか。
 3. 旅行の集合場所は学校の前になったと伝えてもらえますか。
 4. あしたの会議には出席できなくなったと伝えていただけますか。
- (4) [内容、事情]。そう伝えてください。
- (5) ～ように言ってください／言ってもらえますか／言っていただけますか
(※その人にしてほしいことを伝えてもらう／※「～」に普通形が来る)
- ・注) 一方的な依頼になるので目上の人には使わないほうがいい。
1. あしたの3時に来るように言ってもらえますか。
 2. 5時までに電話をくれるように言っていただけますか。
 3. あした作文の教科書を持ってくるように言ってもらえる？

<伝言を伝える>

- (1) ～とのことです、～そうです。(※伝聞の文型 →★L. 5, 15)
- (2) ～と言って(い)ました
～って言ってました (※口語体では『～と』は『～って』になる)
～って (※親しい関係の場合には『言う』を省略できる)
1. A「ケンさんから何か伝言あった？」
B「もう一度電話するって言ってましたよ」
 2. A「田中さん、何て言ってた？」
B「日曜日はやっぱりだめだって」
- (3) ～んだって (※「～んだそうです」の意味の口語体)
1. 山田さん、来れないんだって。残念だね。
 2. ジョンさんはもう帰ったんだって。それじゃ、しょうがないね。
 3. 集合時間が5時から6時変わったんだって。

会話文型・表現7 許可を求める・応じる／断る

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現7>
許可を求める・応じる／断る

「ちょっと借りてもいい？」

【会話1】



シン：先生、あのう。

先生：はい、何ですか。

シン：ちょっと暑いので、窓を開けてもいいですか。

先生：ええ、いいですよ。

【会話2】



A：ケンさん、ちょっと辞書借りてもいい？ 自分の辞書忘れちゃって。

B：どうぞ。今使って(い)ないから。

【会話3】



カン：先生、あのう。

先生：はい、何でしょう。

カン：ちょっと気分が悪いので、早退したいんですが。

先生：それはいけませんね。早く帰って休んでください。お大事に。



会話文型・表現7 許可を求める・応じる／断る

【会話4】



お客：きのうこれを買ったんですが、後で見たら欲しかったものと色が違っ
たんです。別の色のと取り替えることができますか。

店員：レシートはお持ちですか。

お客：あ、う、レシートがないとだめですか。

店員：申し訳ございませんが、レシートがないとお取り替えはできないんで
す。

お客：ちょっと待ってください。探してみます。

あ、ありました。

それで、別の色で、違うサイズのものを取り替えることができますか。

店員：はい、できますよ。どれがよろしいですか。



【会話5】 (図書館で)



利用者：ロビーで食事してもかまいませんか。

係 員：申し訳ございませんが、館内でのご飲食はご遠慮ください。
食堂をご利用ください。

【会話6】 (テーマパークで)



お客：この中には一般の人を入れるんですか。

係員：こちらは関係者以外は立ち入り禁止になっておりますので。申し訳ご
ざいせん。

■ 文型・表現

<許可を求める>

(1) ～てもいい？、～てもいいですか、～てもよろしいですか

(※許可を求める基本的な文型)

注)「～ても」が「～て」だけになると丁寧さが低くなる。

1. これ、使っていい？
2. この仕事、あしたでいいかな。

(2) ～できますか、<可能形>ますか

(※まず一般的にそれが可能か確認したい場合に使う)

- ・ 一度買ったものを別の物と取り替えることができますか。

(3) ～たいんですが、(～てもいいですか／～できますか)

(※自分の希望を先に話すことによって婉曲表現になる)

- ・ この商品を返品したいんですが。(できますでしょうか。)

(4) ～て(も)かまいませんか (※それをして相手に迷惑にならないかを聞く)

- ・ 出発時間を変更して(も)かまいませんか。

<応じる>

(1) はい／ええ、どうぞ (※基本的な文型)

(2) はい／ええ、もちろんいいですよ／結構ですよ／かまいませんよ

<断る>

(1) すみませんが、・・・ので。(※基本的な文型)

(2) 申し訳ございませんが、・・・ので。(※丁寧な断り方)

(3) 慣用表現 (※婉曲的な表現)

1) ～はご遠慮ください

1. 申し訳ございませんが、こちらでの喫煙はご遠慮ください。
2. 申し訳ございませんが、写真はご遠慮願います。

2) ～は(できない) ことになっております (→★L5)

1. こちらには一般の方は入れないことになっておりますので。
2. 時間の変更はできないことになっておりますので。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現8>

提案・助言する

「先生に聞いてみたらどうですか」

【会話1】



加藤：卒業旅行のことなんですけど、どこがいいでしょうか。

山田：伊豆^{いず}はどうですか。景色もいいし、温泉もあるし。

加藤：そうですね。伊豆だとやっぱり電車で行ったほうがいいですか。

山田：う〜ん。バスのほうがいいんじゃないかと思うけど。自由にできるから。

【会話2】



ケン：日本語の辞書を買おうと思うんですが、何がいいですか。

キム：そうですね。いろいろありますが、これなんかどうですか。用例もたくさん載っているし。

ケン：よさそうですね。ほかにもありますか。

キム：一度、大きな本屋さんに行って、自分でいろいろ比べてみたらどうですか。やっぱり自分で見て、使いやすいのを選ぶのがいいですよ。

それか、先生に聞いてみたらどうですか。先生ならいろいろ知って(い)ますよ。



会話文型・表現8 提案・助言する

【会話3】



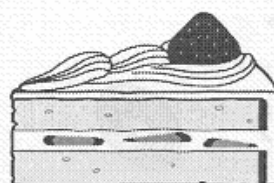
ジョン：山田さんの誕生日プレゼント、何がいいかな。
ヘレン：そうね。男性だからネクタイとかベルトがいいんじゃない？
ジョン：私はお酒がいいと思うけど。山田さんお酒が大好きだから。
ヘレン：それじゃ、お酒とネクタイにしたらいんじゃない？
ジョン：じゃ、そうしようか。

【会話4】



カン：夏休みに一度帰国するんですけど、アパートの大家さんにお土産を買ってきたほうがいいでしょうか。
山田：そうですね。何かちょっとしたものを買ってきたほうがいいでしょう。お世話になって(い)ますからね。
それから、長い間留守にするときにはそう言っておいたほうがいいですよ。心配するといけないから。
カン：そうですね。分かりました。

【会話5】



山本：ああ、おいしそう。私もケーキ食べたいな。
田中：山本さんもさっき一緒に注文すればよかったのに。
山本：私、ダイエット中だから。でも、本当においしそうに食べて(い)るわね。
田中：そんなにじろじろ見られると食べられないよ。そんなに食べたかったら、これから注文したらいいじゃない。

ベルト おおや 大家(さん) じろじろ(見る)

■ 文型・表現

＜提案1＞（※それを勧め^{すす}める）

- (1) ～はどう？ / ～はどうですか
 （～はいかが？） / ～はいかがですか

1. 日曜日はどうですか。
2. この赤いシャツなどはいかがですか。とてもお似合いですよ。
 注) 「～は」のかわりに「～など」「～なんか」も使える。

- (2) ～たら？ / ～たらどう？ / ～たらどうですか
 （～たらいかが？） / ～たらいかがですか

1. 心配だったら、一度病院に行ったら？
2. 先生に相談してみたらどう？
3. 一度病院に行ってみてもらったらいかがですか。

＜提案2＞（※自分の考えをはっきり出す）

- (1) ～がいい { と思います／思いますけど
 ですよ／でしょう
 んじゃない？／んじゃないですか／んじゃないでしょうか

1. （私は）5時からがいいと思いますけど。
2. 料理はバイキング形式がいいんじゃないですか。

- (2) ～たらいい { と思います／思いますけど
 ですよ／でしょう
 んじゃない？／んじゃないですか／んじゃないでしょうか

1. それじゃ、日帰りではなくて一泊にした方がいいですよ。
2. それじゃ、中止にした方がいいんじゃない？

＜提案3＞（※アドバイス）注) 忠告^{ちゅうこく}の意味でも使われる。

- ～ほうがいい { と思います／思いますけど
 ですよ／でしょう
 んじゃない？／んじゃないですか／んじゃないでしょうか

1. もっと早く出発したほうがいいと思うけど。
2. 旅館じゃなくて、ホテルにしたほうがいいんじゃないでしょうか。
3. 木曜日にしたほうがいいよ。金曜は込むから予約できないよ。

会話文型・表現8 提案・助言する

^{ひなん}
＜非難＞ 注) ＜提案＞と違って「ん」が入らない。イントネーションに注意。

～たらいいじゃない(↓) / いいじゃないですか(↓)

(※「たら」の代わりに「ば」も使える)

1. そんなに文句を言うなら、一人でやったらいいじゃない。
2. いい点を取りたいならもっと勉強したらいいじゃないですか。(どうしてしないんですか。)
3. そんなにいやなら「いやです」とはっきり言えばいいじゃない。